安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ダフニー　アルファソルブル　ＣＺ

整理番号 32633106

供給者の会社名称，住所及び電話番号

製造元

会社名	出光興産株式会社
住所	100-8321東京都千代田区大手町一丁目２番１号
電話番号	03-3213-3143
FAX番号	03-3211-5343
緊急電話番号	03-3213-3143

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	切削油(水溶性) 等
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

物理化学的危険性	分類できない	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1A
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1 (肝臓)
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2 (腎臓, 呼吸器)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1 (気道)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2 (肝臓, 血液, 腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分3
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分3

GHS ラベル要素

絵表示

注意喚起語 危険

危険有害性情報 皮膚刺激。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 重篤な眼の損傷。 発がんのおそれの疑い。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。 臓器 (肝臓) の障害。 臓器 (腎臓, 呼吸器) の障害のおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (気道) の障害。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓, 血液, 腎臓）の障害のおそれ。 水生生物に有害。 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト／蒸気を吸入しないこと。 取扱い後はよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性 知見なし。

その他の情報 混合物の5 - < 10% は急性経口毒性未知の成分である。 混合物の10 - < 20% は急性経皮毒性未知の成分である。 混合物の50 - < 60 % は急性吸入毒性未知（蒸気）の成分である。 混合物の40 - < 50 % は急性吸入毒性未知（粉塵およびミスト）の成分である。 混合物の10 - < 20% は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。 混合物の10 - < 20% は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。 皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚炎。 発疹。 浮腫。 黄疸。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

非常事態の概要 重篤な眼の損傷。 臓器の障害。 発がんのおそれの疑い。 皮膚刺激。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 生殖に対する危険有害性の可能性。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。 水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

		官報公示整理番号		
化学名又は一般名	**CAS番号**	**化審法**	**安衛法**	**含有量 (%)**
Diethanolamine	企業秘密	*	*	10 - 20
Octanoic acid	企業秘密	*	*	5 - 10
Dodecanedioic acid	企業秘密	*	*	3 - 5
3,5,5-trimethylhexanoic acid	企業秘密	*	*	1 - 3
Potassium carbonate	企業秘密	*	*	1 - 3
Dicyclohexylamine	企業秘密	*	*	0.3 - 1
Triethanolamine	企業秘密	*	*	0.1 - 0.2
報告量を下回るその他の成分				60 - 70

化学式 特定できない。

組成情報 2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法における第一種指定化学物質（物質名 [政令番号]）は以下の通りです。
ジエタノールアミン [1-166]
* の記載がある場合、番号は企業秘密

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 被災者を保温する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合	吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。 湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この安全データシートを持参し、医師の診察を受ける。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。 コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の指示なしに無理に吐かせないこと。 もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。 医師の診察を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。 皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚炎。 発疹。 浮腫。 黄疸。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。（可能ならばラベルをみせる） サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。 この安全データシートを担当医に見せる。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。 被災者の観察を続ける。 症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡消火剤。 粉末。 二酸化炭素（CO2）。
使ってはならない消火剤	火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	適切な保護具を着用する。 風上から適度に距離をとり、注意して消火すること。 危険を冒さずに可能な場合には、熱にさらされた容器を水噴射して冷却し、移動する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特定の消火方法	関係者以外の立ち入りを禁止する。 人々を即時に安全な場所に避難させる。 水が存在する間、製品自体は、燃焼しないが、水が除去された場合には、燃焼します。 現地の状況と周囲環境に応じて適切な消火手段を使う。 小規模火災の場合のみ、粉末消火剤、二酸化炭素、砂または土を使用することもできる。 大規模な火災には、泡消火剤を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。 清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。 ミスト／蒸気を吸入しないこと。 適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 十分な換気を確保する。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。 個人用保護具についてはSDS第8項を参照。
環境に対する注意事項	流出分を封じ込めて放出を防止すると共に、国の排出規則を遵守すること。 環境への放出を避けること。 全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	製品を排水施設に流してはならない。 少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。 大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。後に処分するために流出物の前方に土手を築く。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止しなければならない。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等） 換気のよい場所でのみ取り扱う。

安全取扱注意事項 全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋を着用すること。 ミスト／蒸気を吸入しないこと。 当材料を目に接触させないで下さい。 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。 長期間または反復して皮膚に接触するのを避ける。 使用中は飲食や喫煙をしない。 妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。 もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 産業衛生に気を配る。 SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。 容器の取扱いおよび開封の際は注意する。

接触回避 強酸。 強酸化剤。 詳細についてはSDS第10項を参照。

衛生対策 あらゆる医学的監視要件を遵守すること。 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。 熱や発火源から遠ざける。 直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。 容器を密閉しておくこと。 混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

安全な容器包装材料 容器を切削、溶接、はんだ付け、穴開け、研削したり、あるいは熱、炎、火花やその他の発火源に暴露してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

濃度基準値（安衛則577 条の２第２項）

成分	タイプ	数値
Diethanolamine	TWA	1 mg/m3

米国. ACGIH作業環境許容濃度（TLV）

成分	タイプ	数値	形状
Diethanolamine	TWA	1 mg/m3	吸引性画分および蒸気。
Triethanolamine	TWA	5 mg/m3	

暴露ガイドライン

米国ACGIH許容濃度：皮膚

Diethanolamine (CAS 企業秘密) 皮膚吸収の危険性

設備対策 適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空気中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空気中の濃度を適切な濃度以下に抑える。 洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

眼，顔面の保護具 サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）とフェイスシールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具 適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体。

形状 液体

色	淡黄色 - 黄色
臭い	僅か
融点／凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし。
可燃性	該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発限界－下限(%)	データなし。
爆発限界－上限(%)	データなし。
引火点	クリーブランド オープンカップ法 データなし。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	9.3 (希釈: 50倍)
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度（水）	水に可溶。
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び／又は相対密度	
密度	1.06 g/cm3 (15°C)
相対密度	データなし。
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。
その他の情報	
可燃性	可燃性でない。(水が蒸発すると、可燃性である。)

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸。 強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性 混合物の10 - < 20 % は急性経皮毒性未知の成分である。 混合物の5 - < 10 % は急性経口毒性未知の成分である。 混合物の50 - < 60 % は急性吸入毒性未知（蒸気）の成分である。 混合物の40 - < 50 % は急性吸入毒性未知（粉塵およびミスト）の成分である。

成分	種	試験結果
Diethanolamine		
急性		
経口		
LD50	Rat	210 mg/kg
Potassium carbonate		
急性		
経口		
LD50	Rat	1870 mg/kg

成分	種	試験結果
Triethanolamine		
急性		
経口		
LD50	Rat	8 g/kg
経皮		
LD50	Rabbit	> 20000 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 重篤な眼の損傷。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

日本産業衛生学会 - 皮膚感作性物質

Diethanolamine (CAS 企業秘密) 2 人間に対しておそらく皮膚感作性があると考えられる物質

呼吸器感作性 呼吸器感作性物質でない.

皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 本製品あるいは製品中に0.1 %以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性 発がんのおそれの疑い。

ACGIH発がん性物質

Diethanolamine (CAS 企業秘密) A3 動物に対して発がん性が確認された物質 （ヒトに対する発がん性との関連は未知）

IARC発がん性評価モノグラフ

Diethanolamine (CAS 企業秘密) 2B ヒトに発がん性の可能性がある。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

Diethanolamine (CAS 企業秘密) 2B ヒトに発がん性の可能性がある。

生殖毒性 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 臓器 (肝臓) の障害。 臓器 (腎臓, 呼吸器) の障害のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (気道) の障害。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓, 血液, 腎臓）の障害のおそれ。

誤えん有害性 誤えん有害性でない。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種		試験結果
Dicyclohexylamine			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	Water flea (Daphnia magna)	51.1 - 99.3 mg/l, 48 時間
Diethanolamine			
水生			
急性			
魚類	LC50	Fathead minnow (Pimephales promelas)	100 mg/l, 96 時間
甲殻類	EC50	Water flea (Ceriodaphnia dubia)	61.8 - 86.04 mg/l, 48 時間

成分		種	試験結果
Potassium carbonate			
水生			
急性			
魚類	LC50	Fathead minnow (Pimephales promelas)	< 750 mg/l, 96 時間
Triethanolamine			
水生			
急性			
魚類	LC50	Fathead minnow (Pimephales promelas)	10610 - 13010 mg/l, 96 時間
甲殻類	EC50	Water flea (Ceriodaphnia dubia)	565.2 - 658.3 mg/l, 48 時間

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害。

残留性・分解性 混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない

生体蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし。

オゾン層への有害性 データなし

他の有害影響 その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。
空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染してはいけない。 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。 適用された規則に準拠して廃棄しなければならない。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

UN Number Not applicable

IMDG

危険物には該当しない。

UN Number Not applicable

国内規制 国内輸送については１５項の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

ジシクロヘキシルアミン及びその亜硝酸塩（ジシクロヘキシルアミン）	0.30 - 1.0 %
ジエタノールアミン	10 - 20 %
トリエタノールアミン	0.10 - 0.20 %

表示対象物

ジエタノールアミン	10 - 20 %

発癌性物質

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

ジエタノールアミン	管理番号 626	20 %

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

消防法 消防法の危険物に該当しない。

船舶安全法・危規則 該当せず。

航空法・施行規則 該当せず。

船舶安全法は、個別運送及びバラ積み運送の条件下において。

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
日本化学工業協会　GHS対応ガイドライン、2019年6月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 – ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。 ご需要家各位におかれましては、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切なる措置をお取りくださるようお願いいたします。